

## DXみやぎ5原則

### 1 マイナンバーカードをできる限り活用! (eKYCの活用)

eKYCとは、electronic Know Your Customer の略で、デジタルデバイスを使って、オンラインで本人確認を行う仕組みです。マイナンバーカードを用いたeKYCを積極的に活用します。

### 2 多くの力を集める!

多様なサービス提供者の参入と競争により、ユーザーが便利さと快適さを実感できるDXを目指します。

### 3 縦割りではなく、できる限り部局横断・県市町村横断で施策を展開!

### 4 関心のある全ての県民がDXを感じられるような施策を!

△「役所への手続きが簡単になった」だけでなく  
○「県のDX施策で生活が変わった」「必要な情報が直接届くようになった」と、県民の皆さんに感じていただけるDXを目指します。

### 5 アジャイル型で施策を展開!

アジャイル型とは、「素早い」「俊敏な」という意味で、短期間で開発と検証を繰り返し、リスクを最小化する開発手法です。その時点で最良のものをリリースできるよう、アジャイル型でDXを進めます。

# DXで「みやぎ」が変わる! 後編

前編はこちら

みやぎ県政だより令和5年5・6月号では、DXについての説明や、県の方針を詳しく紹介しています。



#### DXとは

「デジタル・トランスフォーメーション」の略称で、デジタル技術を活用し、生活をより良いものへと大きく「変革」する取り組み

県は、「みやぎ情報化推進ポリシー」に基づき、県民サービスの向上、地域の課題解決・活力創出、働き方改革に取り組んでいます。

今後はこれに加え、DXの成果がより直接的に県民の皆さんに届くよう、「DXみやぎ5原則」を掲げ、必要な方に必要な情報を届ける「能動的県政」を目指していきます。

#### みやぎ情報化推進ポリシーとは?

県の情報化政策の基本方針で、下記の3つを重点目標に掲げ、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。



#### 主な取り組み

#### D for Citizen

#### AIマッチングによる結婚支援「みやマリ」

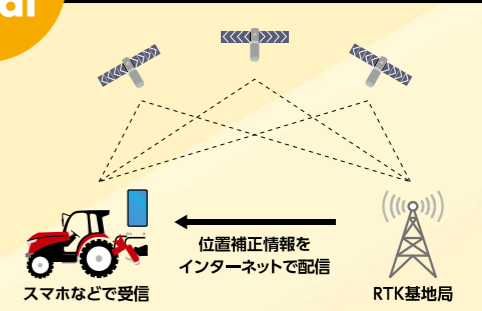


希望条件でのお相手検索に加え、価値観診断テストの結果を基に、AIが自動でお相手を紹介する結婚支援を行っています。



#### D for Local

#### RTKシステムの活用



トラクターや田植機、ドローンなど農業機械の高精度な自動操縦を可能とするRTK基地局を県内7カ所に整備しています。

#### D for Business

#### 生成AIやノーコードツールなどの活用

オンライン会議やテレワークなどの環境整備に加え、生成AI<sup>\*1</sup>やノーコードツール<sup>\*2</sup>といった新しい技術を活用して行政運営の効率化を進め、県民サービスの充実を図ります。

\*1…学習データに基づきテキスト・画像・動画などを生成するAI  
\*2…プログラミング言語を使用することなくアプリケーションなどを構築できるサービス

#### 能動的県政の実現に向けて…

## 「デジタル身分証アプリ」でDXを推進!

これまでの取り組みに加え、**確実に「特定の人」と「随時」「必要な情報のやりとり」が可能**なアプリを活用して、防災分野をはじめ、さまざまなサービスを提供していきます。

#### アプリの基本機能

1 ユーザー情報	マイナンバーカードの公的個人認証サービスにより常時最新の情報に更新可能
2 二次元コード読み取り	避難所受付や地域ポイント利用などの際に使用
3 ミニアプリ	ユーザーの属性に応じてさまざまなサービスが利用可能
4 プッシュ通知受信	ミニアプリからのお知らせを受信



#### ミニアプリ例(実証中)

ミニアプリを活用すると  
どんどん便利に!

#### 防災(原子力災害+自然災害)

避難先をお伝えするプッシュ通知や、二次元コードの読み取りでの避難所チェックインなどにより、避難行動を効率化します。

※原子力防災ミニアプリは、女川町から実装を開始しており、今後段階的に運用範囲を拡大します。



#### 地域ポイント

特定の地域・店舗などで利用可能なポイントを住民に付与し、商店街などの地域経済活性化に役立てます。

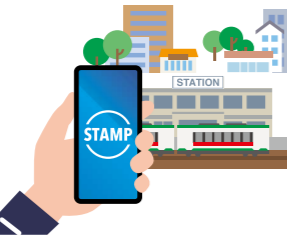
【実証地域】石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町



#### スタンプラリー(観光)

二次元コードの読み取りによる周遊スタンプラリーで、取得スタンプ数に応じて景品が当たるキャンペーンを実施しています。

【実証地域】JR陸羽東線(宮城県内)



#### インフラ異常箇所通報

道路などインフラ施設の損傷・異常箇所をスマートフォンで撮影し、県に通報するアプリで、迅速な対応に役立てます。

【実証地域】宮城県内全域



#### このほかにもミニアプリが登場予定

これらのほかにも、県民の皆さんが気軽に県政に参加できる「アンケート」ミニアプリなど、県民サービスの向上に向けたミニアプリの検討を進めています。今後のデジタル身分証アプリの動向にご注目ください。

デジタルみやぎ推進課 ☎022(211)2481